学校だより　　平成３０年９月１２日（水）

明るく　元気に　前向きに

第７号　　いわき市立平第一小学校（文責　校長　伊達多津也）

２学期がはじまり、はやくも２週間が過ぎましたが、天候の変わり様はそれ以上で、一気に「秋」を感じるようになりました。この２週間の間に、６年生の修学旅行と３年生の見学学習、そして金曜日は４年生がアリオスでの方部音楽祭に参加することになります。気候が良くなってきましたので、充実した学校生活が展開できそうです。

会話のある家庭

先日、ある保護者の方から、「校長先生の夏休みのびっくりは、熊との遭遇だったのですね。娘から話を聞いて、家族の中で話題になりました。」と、伝えていただき、とても嬉しくなりました。

学校で話を聞いたことを、家族に伝えそれを家族がきちんと聞いてあげている家族の光景がみえました。

「そうだったの。校長先生もさぞやびっくりしたでしょうね。」「運転中、すごく大きな声を出したそうで、放送で再現してくれたの。」というような会話も聞こえてきそうでした。

【始業式の話】裏磐梯で熊との遭遇

夫婦で裏磐梯檜原湖をドライブしていたときに、目の前に熊を見つけました。そこは、オートキャンプ場から100m位の所で、家族3人でキャンプをしている光景をみたばかりでした。

すぐにひき返して、管理人を見つけ、熊の目撃を伝えて、再びびっくり。管理人さん曰く

「前の山にはずいぶんと熊がいるよ。」「先にいた熊も人間を迷惑がっているから」・・・・・・・・。

家族がおもいおもいのことを素直に表出できる場所が家庭です。思春期を迎えると、とたんに話さなくなることは経験値からも明らかです。お子さんの話に、「傾聴」「共鳴」「共感」してあげることをおすすめします。

ジンクス破る！

１勝３敗で迎えた５戦目は修学旅行

「今年度は雨に祟られている」という嫌な話が定着しつつあるところでしたが、６年生の修学旅行隊がジンクスを覆しました。出発式を昇降口屋根下で行った以外は、雨が降るものの車内や見学中だったりで、みごと傘も差さずに全行程を、具合の悪い子が一人も出なく、安全に楽しく予定よりも早く帰校することができました。ジンクスは破られましたので、これからの見学学習、宿泊活動、卒業式まで、雨にあわずにいきたいものです。

【１勝３敗】　１勝は、「運動会」（大成功！でした。）３敗は、「陸上大会（土砂降りの中）」「筑波山登山（登山を回避）」「いわきおどり（台風接近で中止）」

【校長のひとりごと】　**「新たな視点からの学校運営」**

次年度以降、全校児童数の減少が予想されます。現在４３１名が在籍していますが、９０名の６年生が卒業すると、４００名を下回ることもありえます。教職員配置数は学級数の関係により決定されるため、教職員数の減少も想定内としていかなければなりません。

そのために、今までの教育活動を見直し、削減や縮小しながら、重点化を図ることを今年度の内に進めていかなくては。